

□京都府立図書館 令和4年度の重点取組事項

- 1 オンラインサービスの充実に向けた取組
- 2 府立図書館の見える化の推進
- 3 他機関との連携強化

評価区分	評価の目安
5	着実に実施（効果あり）
4	着実に実施
3	概ね実施
2	進捗が遅れている
1	改善の必要あり
—	事業がないため評価なし

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1 府内の各図書館とのネットワークの充実					
各図書館が所蔵する資料が一括して検索できるとともに、資料の相互貸借を行うことができるK-Libnetシステムの確実な運用を図ります	○K-Libnetシステムの確実な運用の継続		◆K-Libnet参加館 103機関 ▷府立、市町村26、歴史館、議会、ライトハウス、大学12、高校48、特支12、総合教育センター ◆SE作業（週1回）、定例会（月1回）、課題管理システムを活用し、確実な運用体制を確保 ◆参加館とはK-Libnetのメッセージや掲示板機能を活用し、双方向の情報共有を実施	4	・確実なサービス運用が実施できた。 ・確実な運用を続けていくために、システムの操作研修などを定期的実施していく必要がある。
大学図書館が所蔵する図書を府立図書館と身近な市町村立図書館で、府立図書館・市町村立図書館が所蔵する図書を大学図書館で、閲覧することができる取組を推進します。	○K-Libnet参加大学との相互貸借の実施（継続） ○K-Libnet参加大学増加に向けた取組 ○K-Libnet参加大学との情報交換会を予定		◆K-Libnet参加大学（12大学） ▷先端大、京大、京教大、福知山公立大、佛大、府立医大、工繊大、府立大、ノ女大、橋大、外大、京女 ◆K-Libnet参加大学との情報交換会 府立大学附属図書館	4	・K-Libnetについての問い合わせもあり、大学連携が評価されている。 ・大学との情報交換を始めた。本年度は1機関のみ実施した状況である。
K-Libnet 参加館等へ資料を運ぶ連絡協力車の効率的な運行を図ります。	○連絡協力車の安心安全で効率的な運行（週2回）		◆連絡協力車を週2回運行 ▷運行回数 278回（計画通りの運行）（③278回） ▷相互貸借冊数 46,081冊（③45,698冊） ▷運行等についての意見聴取を市町村巡回時に実施（効率的な運行順について次年度に向け検討）	4	・連絡協力車について計画どおり運行できている。 ・職員巡回等で各館の意見等を逐次聴取し、今後とも効率的な運行に努める。
K-Libnet システムの利便性の向上を図るため、大学・企業等との共同研究の取組を推進します。	○産官学プロジェクトの（書誌データ重複の解消）実装化への取組		◇重複書誌データ除去システムをK-Libnetに組み込むことについて検討	3	・引き続き関係者と協議の上、進める
2 市町村立図書館への支援					
市町村立図書館支援のためのリクエストに応じるなど、資料の充実を図ります。	○収集基準に沿った計画的な貸出文庫の購入 ○リクエスト本の購入による資料の充実		◆資料の充実 ▷貸出文庫購入数 1,706冊（③2,065冊） ▷リクエスト資料購入数 116冊（③147冊） ▷本館市町村リクエスト資料購入数117冊（③84冊）	3	・リクエスト本についてはできる限り対応しているが予算が減っている。
市町村立図書館のニーズを把握するための会議や巡回訪問を実施します。	○会議及び巡回訪問の実施によるニーズの把握		◆ニーズの把握 ▷市町村立図書館長会議開催 4/27 ▷市町村立図書館の職員巡回 10月（訪問）・2月（オンライン） ▷京都市立図書館との相互協力打ち合わせ（未実施）	4	・職員訪問等でニーズの把握に努めている。

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
風水害や新型コロナウイルス感染症等の経験を踏まえ、非常時における図書館運営に関する情報の共有や提供等を推進します。	○ホームページ、ツイッターによる積極的な情報の発信			◆新型コロナウイルス感染症対応 ▷当館の対策について、ホームページに情報を掲載	4	・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部の対応に合わせ、適宜広報している。
市町村立図書館のニーズを踏まえた職員が参加しやすい研修（オンラインを含む）を推進します。	○市町村立図書館等職員研修の充実			◆研修実施 ▷図書館・読書施設等相互協力者初任者研修 5/26（参加者1名 ③24名） ▷レファレンス研修 ①初級 9/15（参加者39名 ③29名） ②中級 11/9（参加者24名 ③17名）	5	・集合研修ができるようになってきたため、参加者が増えた。 ・参加者からの評価も高く、今後とも継続していきたい。
K-Libnetシステムを活用し、市町村立図書館のレファレンス機能の充実を図る取組を推進します。	○市町村図書館や学校等からの相談対応 ○電子書籍を活用したレファレンスの充実			◆相談対応 ▷市町村レファレンス回答 20件（③32件） ▷学校等レファレンス回答 7件（③4件）	3	・レファレンスの充実にむけた具体的な取組を検討するまでには至っていない。
3 学校支援の充実						
児童、生徒の調べ学習や学生の調査研究を積極的に受け入れます。	○積極的な受け入れ			◆春日野小学校見学5/20 45名 京都文教付属小学校見学6/23 31名 京都つくば開成高等学校調べ学習6/23 25名 京都橋大学文学部見学・案内7/21 27名 1/12 28名 滋賀県立石山高等学校図書委員校外研修7/28 36名 京都外国語専門学校11/1 20名	4	・必要な感染症対策を実施しながら、相手方の意向に沿った内容での見学等の受入を行った。
調べ学習や読書、図書館の展示等に活用する学校支援セットの充実を図ります。	○新しい学びに沿った学校支援セットの充実			◆学校支援セットの充実 ▷テーマの新設（「安楽死・尊厳死」「憲法」「死刑制度」「伝統工芸」「論語・故事成語」） ▷各学校等へのパンフレットの配布	4	・学校からのニーズを取り入れテーマを新設した。 ・今後もニーズの把握に努めたい。
ホームページを活用した学校支援セットの利用促進を図る取組を推進します。	○ホームページ等を活用した広報の充実			◆ホームページの学校支援セットのページ ▷「在庫セット数」や「貸出状況」の確認が可能になっていることを広報	4	・継続して実施
総合教育センターと連携した研修を実施するなど、学校図書館の運営を支援するための取組を推進します。	○学校図書館運営の支援			◆学校図書館の運営を支援 ▷総合教育センター主催の学校図書館教育講座 8/25	4	・総教センター講座の機会を最大限に生かして、今後は、電子書籍サービスの使い方も説明していきたい。
大学や企業等と連携して、全ての府立学校の蔵書をインターネットを通じて検索し、相互貸借することができる取組を推進します。	○府立学校長会、府立高等学校図書館協議会への説明を踏まえた取組の推進		3	◆るり溪少年自然の家への学校支援セット貸出（3セット貸出）	4	・学校支援セットの新たな活用先が増えた。
4 子ども読書活動の支援						
子ども読書の日（4月23日）を記念する事業に取り組みます。	○第11回子ども読書本のしおりコンテストへの協力			◆第11回子ども読書本のしおりコンテスト ▷作品応募数 6,373点（③7,767点） 審査会 9/28 表彰式 11/6 ▷市町村立図書館・読書施設等での巡回展示 37施設（③37施設）	4	・コロナ感染症拡大の影響等もあるなか、応募数は減少傾向であるが、子供の読書活動推進に有意義な取組となっている。

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
「きょうと子ども食堂」「こどもの居場所」に取り組む団体や「京都府教育委員会認定フリースクール」等の様々な民間団体と連携し、子どもの読書活動に寄与する取組を推進します。	○きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への支援の継続 ○府教委認定フリースクールへの支援の継続	3	◆きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への貸出 10団体681冊（③11団体860冊） ◆府教委認定フリースクールへの貸出 1団体200冊（③1団体200冊）	4	・現状維持となっている。 ・今後は、知事部局当局と連携を深め、ニーズの把握に努める。	
市町村立図書館が実施する児童サービス等に関する情報の収集と発信に努めます。	○積極的な情報の発信		◆ホームページの「府内図書館等の行事一覧」から情報を発信	4	・随時更新	
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます						
5 多様な資料の収集・整理・提供						
毎年7万点以上の書籍が発刊される中、収集方針に基づいた多様な資料の収集を図ります。	○収集方針に沿った資料の購入 ○京都府生涯現役クリエイティブセンターとの連携（ビジネス支援）		◆購入冊数合計4,804冊（③5,817冊）	3	・予算減のため、購入冊数も減少。特に高額なレファレンスブックについては、購入を見送っているものも少なくない。	
ビジネス支援等の課題解決や調査研究に役立つ資料の収集を推進します。	●電子書籍等を活用したビジネス支援等の取組の検討		◆日本政策金融公庫との連携（図書の寄贈、連携展示 8/10～9/21、連携講座 12/14）	4	・今年度も継続して着実に実施できている	
美術館コーナーを設置するなど配架の工夫を進め、限られた開架スペースの活用を図ります。	○空いた開架スペースの活用の検討（ビジネス支援棚の構築等）		◆美術館新着コーナー（8回）No.70～77 ◆開架スペースの検討→「ビジネス支援」について検討中	3	・着実に実施できているが、ビジネス支援コーナーの設置については作業が滞っている。	
シナリオコレクションなど所蔵している貴重な資料の整備、活用を推進します。	○取材や館内見学会での積極的な発信		◆テレビで紹介（NHK Eテレ「ザ・バックヤード」）（6月29日(水)）	5	・テレビ放映の影響で、博物館等の視察や館内見学者の数が増加	
6 十分な収蔵空間の確保による資料の適正な保存						
保存センターの役割を担う図書館として、書庫環境の充実に向けた取組を推進します。	●書庫問題に関する調査・検討 ○複本の除籍・移管（歴史館等との調整）		◆複本の除籍・移管→蔵書点検時(1/23～2/2)に作業予定。 ◆書庫問題に関する課題の整理	3	・今年度は歴史館との調整は特に行っていない ・書庫問題検討のPT立上げを準備	
収集した資料の損傷や劣化を防ぐ取組を充実するなど、適切な保存に努めます。	○修繕スタッフの育成・技術の継承（館内での研修開催） ○国立国会図書館主催の修繕研修への参加		◆修繕スタッフの増員（副担当を配置）（継続）	3	・昨年度と同様の取組	
市町村立図書館と連携して府内1冊所蔵図書の的確な把握と保存に取り組めます。	○府内1冊所蔵図書の把握と移管	3	◆12月末現在で府内1冊所蔵図書の保存実績はなし ◆市町村図書館・他機関からの貴重書等の寄贈（47冊） ・議会図書館 24冊 ・南丹市立中央図書館 13冊 ・綾部市図書館 10冊 ・鳥羽高校 7冊 ・桂高校 2冊	4	・今年度も継続して着実に実施できている	
7 各種電子サービス等デジタル環境の整備						
国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」をはじめ、調査研究に役立つデータベースの充実、活用促進を図ります。	○各電子サービス利用促進のための広報		◆各種データベース利用促進のためのチラシ作成及びホームページの更新 ◆国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の個人送信開始チラシの配布	4	・新たな取組として実施	

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
	電子書籍の導入に向けた取組を推進します。	○電子書籍サービス充実に向けた取組		◆電子書籍・オーディオブックサービスの開始 4/30 ◆府立学校への専用カード番号の発行 31校 10,816名分	5	・府立学校への専用カード番号の発行をはじめ、1万名以上の登録を実現した。 ・今後は、出前説明会を行うなど、活用の充実を図っていく。
	閲覧室にWi-Fi環境を整備するなど、調査研究に役立つ取組を推進します。	●Wi-Fi環境の拡充を検討		◇次回システム更新時に本格検討	—	・具体的な検討に至らず
	テーマ別資料リストや図書リストのオープンデータでの提供等を推進します。	○ホームページでの積極的な公開		◆京都府オープンデータカタログサイトでの公開 7件	3	・テーマ別資料リストを含む7件を公開中
8 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実						
	多様な図書に出会える企画展示等の実施、テーマ別資料の作成、ホームページを活用した図書の紹介に努めます。	○テーマ別資料リストの作成（継続） ○リストの整理と見せ方の工夫 ○動画等を使っての展示の紹介・アーカイブの検討	2	◆テーマ別資料リストの作成 17種 ◇展示アーカイブを検討	3	・継続実施 ・展示アーカイブは来年度以降検討
	国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用したレファレンス業務の充実を図ります。	○積極的な登録（継続） ○レファレンス協同データベースに登録したレファレンスをSNSで発信	2	◆レファレンス協同データベース登録件数 6件（③11件）	4	・今年度も継続して着実に実施できている
	国立国会図書館等が開催するレファレンス研修に積極的に参加し、知識技能の向上を図ります。	○積極的な参加		◆第18回レファレンス協同データベース事業フォーラムに参加（3/22）（予定） ▷レファ協で出会う専門図書館 —そのディープな魅力に迫る—	4	・フォーラムに参加予定
9 来館者へのサービスの充実						
	大学等と連携して、エントランス等における効果的な展示や案内の掲示を推進します。	○年間計画を作成し計画的な展示を実施	3	◆1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施 ◆月毎・時事・連続講座関連展示の実施 29回（1F展示ケース（5回）、地下特設（5回）、エントランス等との連動企画（6回）、ミニコーナー（9回）、連続講座関連（4回）） ◆ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介 36回	4	・今年度も継続して着実に実施できている
	障害者や外国人等を対象にした図書館案内の充実を図ります。	○外国語図書コーナーの内容を充実させるための定期的な内容の見直し		◆「りんごの棚」の設置（6月） ▷誰でも楽しめるように工夫された本やバリアフリーに関する本などを集めたコーナーを設置	4	・新たな取組を実施
	図書館カードによる館内サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○図書館カードの利用の検討（IDとして、マイページ以外にも複写の申込みに使えないか等）		◆マイナンバーカードの利用 全登録者数28名 今年度新規2名（③新規2名）	3	・図書館カードの利用の検討は特に進んでいない。（マイナンバーカードの利用についても特にPR等は行っていない）
	図書の貸出期間の延長等、情報通信機器を活用したサービスの充実を図る取組を推進します。	●先進事例を参考としたキャッシュレスサービスの調査・研究		◆来年度以降調査・研究	—	・具体的な検討には至らず
	京都市図書館との相互返却サービスの取組を推進します。	○京都市図書館との「返却本お預かりサービス」の継続実施及び改善点の見直し		◆「返却本お預かりサービス」の継続実施	3	・12月末時点で京都市との打ち合わせ未実施
	市町村立図書館と連携して返却サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○各市町村図書館の意見を踏まえた遠隔地返却の検討		◆検討中も進捗はなし	2	（北部6市町から、エリア内での相互返却についての協力依頼あり）

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
10 オンラインサービスの充実						
電子書籍をスマートフォン等情報通信機器により利用できる取組を推進します。	○電子書籍及びオーディオブックサービスの充実 ○利用促進に向けた取組の推進	1	◆令和4年4月30日サービス開始 電子書籍3,135点・オーディオブック6,194コンテンツ オーディオブックは1月に991追加し、7,185コンテンツ ◆学校向けコンテンツを紹介するホームページ作成を検討	5	・電子書籍及びオーディオブックサービスの提供を開始できた。 ・府立学校向け専用ID/PWを配布した。	
大学等と連携して、価値ある資料のデジタルアーカイブ化の取組を推進します。	○同志社大学との連携によるデジタルアーカイブ公開資料の効果的な活用の検討 ○新たなデジタルアーカイブ化の検討		◆同志社大学・京都府立図書館共同事業 京都府立図書館貴重書コレクションで公開（公開アドレス変更）	4	・システム側でアドレス変更されたおかげで検索しやすくなった。	
電話やインターネット等によるレファレンスサービスや図書の複写サービスの取組を推進します。	○HHPでのオンラインサービスの整理・情報提供の充実 ○郵送複写の整理・充実（様式や申込方法の改正） ○著作権法改正（図書館資料のメール送信等）への対応準備		◆図書館資料のメール送信等のサービス提供（令和5年6月法施行）に関する情報の収集を実施。	3	・情報収集はしているが、サービス提供に向けた課題解決及び環境整備が必要	
インターネット等による 府立図書館カードの作成や図書の郵送貸出の取組を推進します。	○図書郵送サービスの継続実施 → 電子書籍導入に伴う申し込み方法等の改善 ○図書館カードの電子申請を実施		◆図書の有料送付サービス ▷ 申込数 42件・発送冊数 85冊（③申込数 104件・発送冊数 157冊） ◆図書館カードの電子申請を令和4年度中に開始	4	・図書館カードの電子申請は、年度内に実施の見込み	
11 障害者サービス等の充実						
大活字本やデジター図書等の充実を図ります。	○大活字本、デジター図書等の購入 ○市販のオーディオブック等の収集・提供の検討		◆デジター購入 → 年1回の購入のため、12月末では0	-	・年度末に購入	
対面朗読サービスの充実に努めます。	○個人向けZoom対面朗読本格実施 ○市町村立図書館経由のZoom対面朗読（調査・テスト実施）		◆zoomによる対面朗読（80回160時間）対面（1回2時間） ◆京図連協会報への寄稿（1回）	4	・ほとんどがzoomの利用になり、予想以上の成果だったが、市町村への対応が具体的にできなかったため。	
サビエ図書館が所蔵する点字図書や録音図書に関する書誌データベース（約70万点）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。	○オーディオブックや読み上げ機能のある電子書籍を活用した障害者への読書支援 ○ダウンロード可能な資料の市町村図書館への広報及び提供		◆サビエ/国会図書館データの利用 音声資料等貸出数151タイトル（当館所蔵7タイトル、他館借受資料144タイトル） 貸出先内訳：当館利用者94 府内図書館54 府外3 借受先内訳：サビエ経由129 国会図書館15（デジター14/電子書籍（Epub形式）1）	4	・利用者の希望に応えることができたが、まだ、拡大の余地はある。	
国立国会図書館が所蔵する学術文献録音図書DAISYデータや視覚障害者等用データ（音声DAISYデータ、点字データ等）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。						
京都ライトハウス情報ステーションや近隣文化施設と連携して、共生社会を目指す取組を推進します。	○文化庁主催「CONNECT⇄」事業への参加 ●関西盲導犬協会との連携	3	◆CONNECT参加（12/1～12/21） ▷【展示】 ・「読む聴く話す 本の色々なかたち展」 ・「想像する文字展 2022 in 京都府立図書館」 【動画配信】 ・「おどろきの活版印刷」 ・「色々な読む、聞く、感じる」 【ワークショップ】 ・「はじめての朗読会」 「羊皮紙に書く！」	5	・京都岡崎での開催は3回目になるが、今年度も民間企業や大学と連携した取組、過去2回はできなかったワークショップを実施することができた。 ・普段利用されている方以外の来館が多数あった。	

令和4年度 京都府立図書館事業実績（12月末）

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
1 2 職員の資質・能力の向上						
文部科学省、国立国会図書館、大学等様々な機関が主催する研修・研究会等（オンラインを含む）への積極的な参加に努めます。	○研修計画に基づく積極的な参加 ○市町村向けの研修内容の館内での共有			◆新任図書館長研修 8/30～9/1 ◆著作権講習（京都大学） 9/28～9/29 ◆NDLレファレンス研修 11/10 ◆京図連協研修 11/11 1/20 3/2	4	・可能な限り積極的に参加できた。
大学や市町村立図書館の要請に応じた研修の講師を務めるなどの取組を推進します。	○集合研修の実施（オンライン含む） ○ニーズを踏まえた出前研修の充実			◆出前研修の実施 ▷本の修繕 宮津市立図書館 11/24（参加者14名） ▷レファレンス 宇治市中央図書館 10/27（参加者21名） 長岡京市立図書館 12/1（参加者20名） 京田辺市立中央図書館 1/27 ▷業務入門 京丹波町役場 8/26（参加者15名）	4	・計画どおり実施見込。 ・対面での実施が可能となった。 ・おおむね好評を得ている。
様々な機関と連携したタイムリーな研修を実施します。	○文化財、防災、人権研修の実施 ○他機関と連携した計画的な研修の実施	3		◆「崇徳院とその時代」5/26 ◆「障害者の人権」9/22 ◆「文化財と町屋の保護・活用」10/27 ◆救命救急講習10/27 ◆文化財保存現場等見学（良正院ほか）1/31	5	・今年度新たに府立大学（教授）や法務局（人権擁護委員）と連携した研修の実施や当館アドバイザーによる文化財研修（フィールドワーク含む）を実施し、職員の資質向上につながった。
III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します						
1 3 「知的な交流の場」の活用						
大学や企業等と連携した展示を行うことにより、多様な人が互いに学び合う取組を推進します。	○大学や企業との連携展示の実施（京都大学総合博物館、京都外国語大学附属図書館など）			◆京都府立図書館・京都外国語大学附属図書館共催稀覯書展示会「書物でたどる京都時空散歩 -Time travel Kyoto-」5/27～6/22 ◆日本政策金融公庫 連携展示 8/10～9/21	4	・今年度も継続して着実に実施できている
ナレッジベースの特長を活かし、NPO等民間団体と協働した取組を推進します。	○京都SKYセンターと連携し同センターシニア大学講座を開催			◆京都SKYセンターシニア大学講座の開催 10/12、10/26	4	・他府県からの参加者もおられる中、京都府立図書館の取組を紹介できた。
NPO等民間団体が行う企画を府立図書館の資料やデータベースを活用して支援する取組を推進します。	●サービスデザインチームによるNPO等民間団体や大学との連携事業の推進			◆来年度以降検討	-	
大学と連携し、大学生による「図書館応援チーム（仮称）」が企画・実施する取組を推進します。	○当館におけるインターンシップ生（京女）、図書館実習生（同志社）、演習生（府立大）との意見交換など、大学生との交流の一層の推進。 ○大学のカリキュラムとしての演習、図書館実習、インターンシップ等の受け入れ（継続） ●大学生が主催・運営するイベントの受け入れ	3		◆キャリア教育インターンシップ（京都府立大学）5名受入れ（R4.5～R4.10） ◆インターンシップ生（京都女子大学）13名が活動（R3.10～R4.3） ◆図書館実習生（同志社大学）6名受入（R4.11.8～11、R4.11.15～18）	4	・各校が図書館で学ばせたい内容を把握、理解し、それぞれのプログラムで学生を受入れている。

令和4年度 京都府立図書館事業実績（12月末）

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
14 府立図書館の見える化の推進						
ホームページやSNS等を活用した効果的な情報発信を図ります。	○Twitterでの発信数300超、フォロワー数1500超え ○更なる情報発信	2	◆ホームページ95回更新 ツイッター281回投稿 ツイッターフォロワー数1,275（今年度増加257） ◆HP記事 → こんな記事読めます 8回 こんな視聴覚資料あります2回	3	・効果的なSNSの利活用に継続して取り組んでいる。 ・「こんな記事」は異動後は毎月掲載できているが、視聴覚は少ないため	
京都府の広報媒体の活用、報道機関への効果的な広報を推進します。	○府の広報紙の活用 ○テレビ番組等の取材の積極的な受け入れ ○京都モダン建築祭への参画		◆府民だより10月号・2月号への掲載 ◆職員ポータルサイト7回掲載 ◆モダン建築祭への参加	3	・府民向け、職員向けなど、媒体に合わせた広報内容に取り組んでいる。	
館内見学会の実施や旧館家具等を活用した歴史ある図書館を発信する取組を推進します。	○館内見学会の定期的な実施 ○「旧館時代の追想～明治期の建築部材展示」の常設		◆毎月第3水曜日に館内見学会を実施 ◆3階に旧館家具等の展示スペースを整備	5	・感染対策を取り、少人数での館内見学会を毎月実施することができた。 ・モダン建築祭等の機運を受け、展示スペースを刷新した。	
公益財団法人 大学コンソーシアム 京都 と連携し、大学生を対象とした広報を推進します。	○公益財団法人大学コンソーシアム京都と連携した府内大学への告知（案内資料送付等）		◆今年度未実施	—	・コロナの影響で見合わせ	
利用案内や調べ方案内のオープンデータでの提供を推進します。	○オープンデータの作成と提供（京都府オープンデータポータルサイトの活用）		◆年度末に改訂の予定	3	・電子申請導入等の内容を盛り込み改訂する予定	
15 各種セミナー等の実施						
大学等様々な機関と連携した講座やセミナーの開催を推進します。	○大学等と連携した講演会の実施 ○大学等と連携した展示の実施 ○講演会や展示に関連した図書リストの作成・公開	3	◆日本政策金融公庫 連携講座 12/14 ◆府立図書館講演会 3回（詳細は下記のとおり）	4	・今年度も継続して着実に実施できている	
図書館の持つ機能を生かした講座やセミナーに関連する図書の展示、図書リストの作成等を推進します。			◆府立図書館講演会 ①「かつての京都観光」（京都府立図書館・京都外国語大学付属図書館共催 6/11 村山 弘太郎 京都外国語大学准教授） ②「承久の乱と京都」（10/16 長村 祥知 富山大学講師） ③「アンディ・ウォーホル～「表現」から「表面」へ～」（11/19 潮江 宏三 前京都市美術館長）	4	・今年度も継続して着実に実施できている	
京都府高等学校文化連盟と連携を図り、高校生が前庭等を活用して発表する取組を推進します。		○京都府高等学校文化連盟と連携した府立学校文化部の発表機会の提供	3	◆今年度未実施	—	・展示スペース確保の関係で未実施
16 大学等研究機関、文化施設等と連携した取組の推進						
岡崎エリアの文化施設等と連携して、展示や図書リストの作成等に取り組みます。	○近隣文化施設との連携強化 ○岡崎エリア施設の催しや展覧会をチェックし、可能な限り関連展示を実施・依頼に対応 ●岡崎魅力づくり推進協議会での連携事業の実施	3	◆国立近代美術館、京都市美術館の展覧会に関連した資料の展示	4	・継続して実施	
岡崎エリアの文化施設等と連携して、様々な企画や事業の推進を図ります。			◆岡崎手帳（岡崎を楽しむハンドブック）の発行協力 ◆関連展覧会等のチラシ・案内を配架	4	・継続して実施	

令和4年度 京都府立図書館事業実績（12月末）

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和4年度 ●令和4年度以降	重点	令和4年度実績（12月末現在）	評価	評価コメント
	博物館・美術館・大学等と連携し、図書館の資料を活用した取組を推進します。	○府内の大学や研究施設等と連携した展示 ○京都大学総合博物館や府内大学等と連携した取組	3	◆京都大学総合博物館との連携展示『埋もれた古道を探る』3/25～5/25 ◆京都外国語大学附属図書館との連携展示『書物でたどる京都時空散策』5/27～6/22 ◆京都府立大学の大学生（キャリア演習生）による職員研修の企画・実施10/27	4	・昨年度に引き続き、京都大学総合博物館及び京都外国語大学附属図書館と連携した展示や講演を実施したほか、新たに京都府立大学のインターン実習生の企画による職員研修を実施した。
17 行政機関と連携した取組の推進						
	京都府議会図書館と連携して、府庁等行政機関の要請に応える図書の貸出等の取組を推進します。	○電子書籍の積極的な活用 ●議会図書館支援、行政支援の充実を図るための検討	3	◆議会図書館行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス 6件（レファレンス2件（南丹振興局、山城教育局）、複写4件（議会事務局）） ◆府庁への資料の配送 ▷議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送 2課23冊（脱炭素推進課12冊、総合政策課11冊） ▷議会図書館 432冊（③143冊）（K-Lib分） ▷新たに機関貸出の申請のあった府の機関 2課（南丹広域振興局農商工連携推進課、るり溪少年自然の家）	4	・議会図書館とはK-Lib経由で借受要求がしていただけるようになり貸出冊数が増加した。 ・今後、府庁各課からのニーズをどのように把握するかが課題。
	府庁等行政機関からの要請に応じたレファレンスサービスの取組を推進します。	○電子書籍の積極的な活用 ○申し込み・回答方法の検討 ●議会図書館支援、行政支援の充実を図るための検討 ●本庁各課が施策実施に当たり法令による行政の原理に資するため、必要な判例等の調査をデータベース等により援助		◆電子書籍・オーディオブックのサービス開始については、行政支援システムの「各地域機関からのお知らせ」に掲載し周知 ◇行政支援の充実に向けた検討は未実施	3	・行政機関による府立図書館の利用の促進について、引き続き検討が必要
	京都府家庭支援総合センター等行政機関との連携を図り、図書の貸出等の取組を推進します。	○京都府家庭支援総合センターへの貸出の継続 ○他の行政機関との連携	3	◆京都府家庭支援総合センターへの貸出 200冊	4	・継続して実施